

おぎ  
だより

平成28年9月号

杉並区立井荻小学校

平成28年8月30日発行 No.578

## 経験を食べる竜

校長 小澤 伸生

リオデジャネイロ・オリンピックと共に訪れた熱く、暑い夏が終わりました。パラリンピックの熱戦と、燃えるような陽ざしはまだ続くのですが、暦の上ではもう秋、子供たちの歓声が戻り、いよいよ2学期の学習が始まります。

7月15日の終業式、子供たちには「夏休みならではの経験ができるとういすね。」と話をしました。学校を離れて過ごした42日間、家族の中で、そして地域の中で過ごした子供たちはどのような貴重な経験をしたのでしょうか。逞しく陽に焼け、そして心なしか少し大人っぽくなったような表情を見せる子供たちをみるに、きっと楽しく、そして有意義なひと夏であったことがうかがえます。

教育の世界には、「聞いたことは忘れ、見たことは理解し、経験したことは身に付く。」という言葉があります。「経験を通して学んだことこそが真の力になる。」という意味で、本校では既に伝統となっている体験的な活動を大切に、教育課程を進めてきました。例えば、本校の特色である環境教育の2つの柱、野鳥観察と善福寺川調査はもちろんのこと、理科教室、生活科でのアサガオの栽培等など…。これらの活動は、実際の経験を通して確実に子供たちの心を育て、正しい知識を身に付けさせてきたことと確信します。

そして今日から始まった2学期も社会科見学や移動教室、そして運動会に展覧会と、子供たちが自分の心と体で吸収し、たくましく成長していくための機会が目白押しです。

経験といえば、思い出される話があります。東日本大震災の翌年、国賓として来日されたブータン国王が、3・11の被災地である相馬市を慰問された時、現地の小学生に語りかけたメッセージがニュースで話題になりました。それまでは、私にとってあまりなじみのない国であったブータンがとても近い国として意識され、未だに事ある毎に心をよぎります。

みなさんは、竜をみたことがありますか？

私は見たことがあるのです。

竜は、私たち一人一人の心の中に存在しています。

時に私たちは、竜を「人格」という名で呼びます。

竜は、私たちの心の中に居て、「経験」を食べて成長します。

だから、日増しに強くなるのです。そして、私たちの感情をコントロールする大切な働きをしてくれるのです。

私たち大人は、経験をたくさん積んでいるのでこの竜は大きいのです。

私は、ブータンの子供たちに話をする時に、自分の竜を養いなさいと言います。

たくさん「経験」をすることで、竜は大きくなり、強くなるのです。

これは、津波や原発など苦しく悲しい経験をした福島の子供たちに向けた国王の励ましのメッセージですが、現代に生きる私たち大人、そして未来ある子供たち全てに向けた貴重なアドバイスの様にも響きます。

私たちはインターネットやメールなど、便利な技術が発達した時代の中で生活しています。ともすると、間接的なシミュレーションで何かを経験し、学んだような錯覚に陥ってしまいがちなのではないのでしょうか。このような時代だからこそ、本物の姿に触れる経験。自らの感覚を通して学び、身に付けた力こそが本当の知識を生み、心の豊かさを育てていくということを大切にしていきたいと思えます。

2学期も本校の子供たちにとって、学校が貴重な経験の場になるように頑張ります。

余談ですが、ブータンの国旗は鮮やかな赤と黄色の地に、力強い昇り白竜が描かれた美しいデザインです。また国民総幸福量という、人々の幸福度を示す尺度の導入を国王自らが提唱し、物質・金銭的豊かさよりも精神的な豊かさを国策として進めている国でもあります。オリンピックの表彰式を観ながら、そんなことも思い出しておりました。

# 小中一貫教育の取り組み

小中一貫コーディネーター 片桐 郁夫

7月4日、今年も荻中生がやって来ました。井荻小の後輩たちに、「おはなしの部屋」として、本の読み聞かせをしてくれるのです。2か所に分かれ、どちらの部屋も楽しみにしていた井荻の子供たちでいっぱいです。もちろん荻窪中学校の生徒は一生懸命。緊張しながらもしっかりと読んでくれました。数年前からの取り組みで、学期一回行われています。



小中一貫教育とは、同じ地域を学区にしている小学校と中学校が、9年間を通じた教育について合同で考え、よりよい教育を目指す取り組みのことで、井荻小学校は、荻窪中学校・桃井第三小学校と3校で一つの研究グループとなって活動しています。

9年間を通しての教育活動で育む資質・能力を以下のように設定しています。

- ・地域とかかわり、つながる活動を通して、児童・生徒が地域に親しみ、地域への愛情を高め、地域の実態や課題を探究的に学び、創造的、協同的に地域の課題の解決に取り組む態度を育む。
- ・地域の中で生きる自分自身を振り返り、これからの生活や自らの生き方について考えることのできる児童・生徒を育成する。

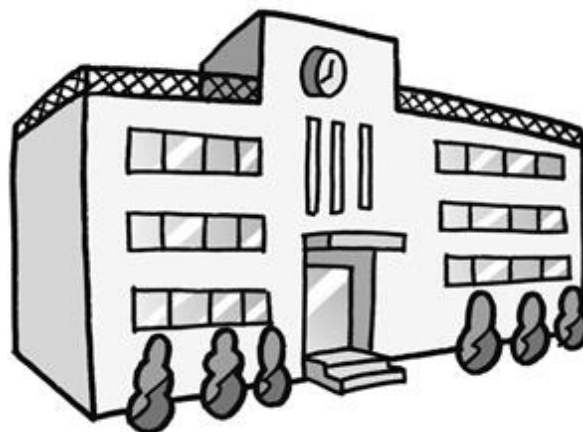


上述の中学生による読み聞かせの他に、荻中生による生徒会訪問や職場体験活動、代表委員会の交流活動（『社会を明るくする運動』として、駅頭でキャンペーン活動を行いました。）、井荻小で続けている善福寺川清掃への中学生の参加、部活動体験など、様々な取り組みを行っています。

教員間では、年に2回、合同研修会を行っています。7月6日には桃井第三小に於いて授業参観の後、「学力向上」「特色ある教育活動」「生活指導」の3つのテーマについてグループを作り、それぞれの学校の課題や方針、今後の方向性について話し合いました。ここでは小学校と中学校の教員、子どもそれぞれの意識の違いや、小中お互いに願うことなどが表れ、参考になります。

8月30日、2学期始業式の午後には井荻小で第2回研修会があります。今回は現在の教育課題である「アクティブラーニング」の視点から、小中学校それぞれの取り組み、実践交流をグループに分かれて行います。

このように、小中学校における学校間交流を年間を通じて実施していくことで、義務教育9年間を見通した継続的な学習指導や生活指導、生き方教育を円滑に進め、子どもたちの将来の夢を育む教育をより一層推進していくことを目指しています。



# 小学校外国語活動について

外国語担当 大沼 文恵

この夏開催された、リオデジャネイロ・オリンピック。日本人の活躍する姿に多くの感動をもらいました。そして4年後には東京オリンピックの開催。「日本での開催を楽しみにしている」と他国の選手から声をかけられたと話す日本人選手もおり、それはわたしたち日本人にとってとても喜ばしいことです。学校でもオリンピック・パラリンピックに触れての授業が行われたり、英語活動の資料が配布されたりと小学校での外国語活動への期待が集まっています。

現在、杉並区の小学校では、低学年5時間、中学年10時間、高学年35時間と外国語活動の授業が設定されています。井荻小学校では、担任の他に日本人講師、外国人講師の方の協力を得ながら外国語活動を進めています。低学年は後半から始まりますが、歌を歌ったり、ゲームを取り入れたりしながら、英語表現をまねて親しむことを目標としています。中学年は数の数え方、ものや色の名前を表す言葉や表現に慣れること、高学年はフレーズを使い積極的に自分の思いを伝えることが目標とされています。限られた時間ではありますが、その時間は繰り返し発音したり、体で表現したりすることで楽しみながら英語に触れています。低学年のころから親しんでいるせいか、いつもと雰囲気の違い英語の時間に抵抗なく楽しんでいる児童が多く見られます。また、外国人講師に積極的に話しかける児童も多く、英語を楽しんでいる様子も伺えます。また、外国の気候や文化に触れる授業もあり、外国に興味をもつ児童も増えているように感じます。文字指導や文法指導ではなく、外国語(英語)、外国の文化に興味をもたせる授業を小学校では目指しています。

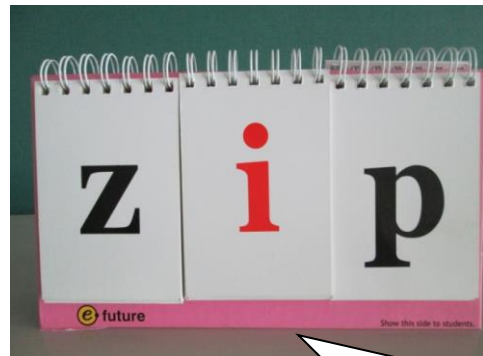
平成32年より施行の学習指導要領では、外国語活動が教科化され、高学年においては年間70時間、週に2時間となり、書く指導も取り入れられる見込みです。移行に伴い、無理なく英語に親しんでいけるように講師と連携を取りながら指導に当たっていきます。



## 「ピクチャーカード」

What's your name? Are you OK?

ジェスチャーを真似てフレーズを繰り返し練習します。何度も繰り返すうちに、絵を見ただけでフレーズが出てくるようになります。



## 「フォニックスビルダー」

6年生は細かい発音も練習していきます。文字の名前と持つ音を知り、文字と音を結び付けていく練習をします。

## チャレンジタイム

体力向上委員会 進藤 奈美

井荻小では、毎週火曜日の中休みに5分間チャレンジタイムを実施しています。運動する楽しさを味わい、運動する意欲を高めるための年間を通した取り組みの一つです。

今年度は低・中・高学年に分かれて「井荻サーキット」「ドッジボール」「長縄(八の字跳び)」を交代して行っています。「井荻サーキット」は、ジャングルジムやうんていなどの遊具を上り下りしたり、ジグザグに走ったりしながら校庭を一周するものです。

「もっと長縄の記録を伸ばしたい!」と進んで外に出て練習する姿が見られたり、「今日は井荻サーキット8周もしたよ!」と嬉しそうに話したりする子供たちの声も聞かれました。2学期も引き続きチャレンジタイムを実施していきます。運動会にむけて、楽しく体を動かし体力向上に取り組んでいきましょう。

# 9月行事予定

8/30	火	始業式・大掃除	
8/31	水	給食開始 委員会 善福寺川の学習（6年）	
1	木	計測（1年）	
2	金	計測（2年）夏休み作品展始	
3	土		
4	日		
5	月	クラブ 計測（5年）	SC
6	火	計測（4年）道徳授業地区公開講座 保護者会（1, 2, 3年） 川の学習（4年）	
7	水	計測（6年）ふれあいタイム	
8	木	計測（3年）道徳授業地区公開講座 保護者会（4, 5, 6年）	
9	金	安全指導 夏休み作品展 終	
10	土		
11	日		
12	月	運動会係打ち合わせ	SC
13	火		
14	水		
15	木	ヤゴのいかだ作り（3年）	
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火	運動会係打ち合わせ（5, 6年）	SC
21	水	ふれあいタイム	
22	木	秋分の日	
23	金	運動会前日準備	
24	土	運動会	
25	日		
26	月	振替休業日	
27	火		SC
28	水	避難訓練 ふれあいタイム	
29	木	演劇鑑賞教室（4年）	
30	金	小児生活習慣病検診（4年）	

SC・・・スクールカウンセラー岩崎さん来校日

## 9月の生活目標

「みんなで協力しよう！」

生活指導部 中野 眞美

長い夏休みが終わり、2学期が始まります。この夏は、何といたってもリオのオリンピックでした。さまざまな競技でたくさんのメダルをとり、日本中の人たちの歓声が聞こえました。特に私が感動した競技は、男子400mリレー、女子バトミントンダブルスです。個人の種目もありますが、チームとしてメダルを獲得したことにとっても価値があると思います。一人一人の力を発揮し、お互いを信頼し競技をした姿は、とても素晴らしかったです。

学校では2学期の大きな行事の一つとして運動会があります。運動の苦手な人もいるでしょうが、仲間と協力して競技や演技をすることはオリンピックの成果に重なると思います。

苦手でも一生懸命練習をすれば、必ず結果は表れます。だから、一つ一つ取り組む努力が大切です。また、仲間（友達）と励ましあい共に協力してがんばると、チームとしての大きな力を発揮することになるでしょう。オリンピックの団体戦と同じ成果を味わえると思います。

高学年の児童は、競技や演技の他に係活動や準備・片づけなどを通して、自分のことだけでなく、みんなのために責任をもってやらなければならないことを学んでいきます。

2学期には、運動会のほかにもいろいろな場面で個人としての目標はもちろん、友達と一緒に協力して活動する機会を大切にして、達成感や感動を広げてほしいと思います。

## 夏休み作品展のお知らせ

全児童の夏休みの自由研究作品を特活室に展示します。毎年、工夫を凝らした素晴らしい作品が並びます。ぜひ保護者の皆さんもご覧ください。

期間：9月2日（金）～9月9日（金）

保護者見学時間：9：00～16：30

場所：特活室

※ご来校の際は、スリッパ等の履物をお持ち頂き、受付名簿にご記名ください。